

(別紙4) 統合型GIS 機能要件一覧

No.	項目		機能要件	
	1. ログイン			
1	ログイン機能		システム利用開始時にユーザーID、パスワードによる認証ができること。	
	2. 地図表示機能			
2	高速描画	キャッシュ機能	表示済み地図領域をキャッシュし、地図を高速に表示すること。	
3	表示操作	拡大・縮小機能	縮尺指定	指定した縮尺で地図表示ができること。
4			ズームバー	ズームバーを操作することにより、地図を自由に拡大・縮小することができること。
5			拡大・縮小	地図の拡大と縮小ができること。マウスホイールを利用して連続的に拡大・縮小ができること。
6			指定範囲拡大	任意の範囲を指定して、地図を拡大表示できること。
7			パンニング移動	マウスを使って地図を自由に移動できること。マウスのドラッグ操作により、地図をつかんだようにして表示範囲を移動できること。
8			全方向移動	マウスを任意方向にドラッグすることで全方向に地図をシームレス（途切れることなく）高速移動できること。
9			全域表示	地図またはレイヤの全体領域表示ができること。
10			地図の回転	角度指定による地図の回転
11		マウス指定による地図の回転		マウスを操作することで地図の角度を回転できること。
12		地図移動		地図表示角度を変更した状態で地図移動ができること。
13		中心表示		クリックした地点を中心とした範囲に地図表示を移動できること。
14	表示切替	レイヤON／OFF	任意のレイヤの表示をON／OFFできること。	
15			レイヤをフォルダにまとめる機能を持ち、フォルダに格納されたレイヤすべてをまとめて表示・非表示の切り替えが行えること。	
16			レイヤのON／OFF設定を保存できること。	
17		レイヤの並び順の変更	レイヤの並び順（優先表示順位）を任意に変更できること。マウスのドラッグ＆ドロップにより変更できることとする。	
18		地物ON／OFF	地図表示地物（地図レイヤ内の構成要素（道路や家屋等））をON／OFFできること。	
19			レイヤをフォルダにまとめる機能を持ち、フォルダに格納されたレイヤすべてをまとめて表示・非表示の切り替えが行えること。	
20			地物のON／OFF設定を保存できること。	
21		お気に入り機能	お気に入り登録	「駅」や「公共の建物」、「交差点」など特定の場所（お気に入り）を保存できること。
22	お気に入り表示		登録された特定の場所（ビュー）に地図の移動ができること。	
23	お気に入り整理		ビューは数の制限なく複数登録でき、フォルダで整理できること。	
24	地図移動	緯度経度指定	地図の中心位置を緯度経度を指定して移動できること。	

25		住所文字指定	地図の中心位置を住所を指定して移動できること。	
26		表示補助機能	操作前の表示範囲に戻ったり、またもう一度、操作後の表示範囲に進んだりできること。	
	3．画面表示			
27	2画面表示	2画面地図表示	2画面表示	地図を2画面表示できること。また簡単な操作で元の1画面の状態に戻せること。
28			2画面同期	左右の2画面はドラッグ移動、定率拡大・縮小、連続ズーム時にスムーズに同一の動作ができること。また、2画面を跨いだドラッグ移動操作ができること。
29			2画面同期	画面の表示位置は同期/非同期が切り替えられること。
30			2画面地図指定	2画面目に表示する地図は指定できること。
31	現在位置表示	指定住所表示		マウスで住所を選択することで指定の住所を表示できること。
32		中心住所表示		地図の中心位置の住所を表示できること。
33	地図画面	装飾機能	方位シンボル	地図画面上に方位シンボルの表示・非表示を設定できること。
34			スケールバー	地図画面上にスケールバーの表示・非表示を設定できること。
35			中心マーク	地図画面上に中心マークの表示・非表示を設定できること。
36			ズームバー	地図画面上にズームバーの表示・非表示を設定できること。
37	索引図		索引図表示	索引図を表示できること。
38			メイン画面との同期	索引図に主地図画面の表示位置を表示すること。
39			地図移動	索引図をクリックすると、クリックした地点に主地図が移動すること。
40	アンチエイリアス対応			ベクトル地図はアンチエイリアスによるきれいな描画表示ができること。
41	システムカラー		テーマ変更	システムのインターフェースのテーマ(カラー)を変更できること。
	4．レイヤの読み込み、新規作成			
42	共通レイヤ	追加／解除		共通レイヤ（地形図、航空写真データ等）の追加、解除ができること。

43	業務レイヤ	追加／解除	業務レイヤ(街路灯、空き家等)の追加、解除ができること。尚、アクセス権限に応じて追加できるレイヤが制限されること。
44	作業状態の管理	保存	追加／解除の状態はユーザごとにレイヤセット(コンテンツデータ)としてローカルファイルとしてWindowsのエクスプローラフォルダへ保存できること。(管理者はサーバ保存が可能であること)
45		サーバ保存	新規にサーバへ保存できること。 サーバへ保存されたファイルは「更新日時」を担当課が確認できること。
46		呼び出し	保存したレイヤセットを呼び出すことによって、瞬時に表示の設定が変更できること。
47	マイレイヤ	マイレイヤ追加	自由作図を行うためのレイヤを新たに追加できること。
48		マイレイヤ名の変更	追加したレイヤの名称変更ができること。
49		マイレイヤの保存	追加したレイヤをサーバに保存ができること。
50		マイレイヤのローカル保存	追加したレイヤはローカルファイルとして保存ができること。
51	レイヤ間のコピー/貼り付け		レイヤ上の図形をすべてクリップボードへコピーできること。
52			コピーしたレイヤ上の図形を別レイヤへ貼り付けることができること。
53	レイヤ公開		レイヤの名称・属性項目を保持したまま公開(全庁共有)できること。
54	レイヤの検索		登録されているレイヤの検索ができ、読み込み対象のレイヤを迅速に探し出せること。
55			レイヤの名称や属性情報からレイヤをあいまい検索し、一覧に表示できること。
56	レイヤ表示範囲(表示縮尺)設定		レイヤごとに、地図の表示縮尺(表示範囲)を設定できること。
57	表示設定	シンボルマーク変更	データ種別を示すシンボルマークの大きさをレイヤ単位で任意に変更できること。(シンボルマークを配置しているレイヤに「優先スタイル」の設定を行い、大きさを変更する。)
58		文字のフォントサイズ、色変更	文字情報は、レイヤ単位でフォントサイズ、色等を指定できること。
59	複数レイヤ表示	地図の種類	ベクトル地図とラスタ地図を重ね合わせて表示できること。
60		透過度設定	レイヤを重ねあわせて表示した場合に、レイヤの透過度を指定して透過表示できること。ラスタデータ、ベクターデータ共に透過度の設定が行えること。
61	グレースケール表示		指定したレイヤをグレースケールで表示できること。
	5. 属性表示		
62	属性表示機能	属性表示	選択した図形の属性データを個票形式で表示できること。
63		チップ表示	図形にマウスを近づけるだけで属性を「チップ表示」できること。チップ表示する属性はレイヤ単位でユーザが任意設定できること。
64		複数属性表示	属性データ参照用のウインドウは地図上で移動させることができ、複数同時に表示できること。
65		串刺し表示	地図上でユーザーが選択した任意の地点の属性情報を、串刺しで検索できること。
66	属性一覧表示	一覧表示	属性情報は一覧表形式(Excelのような表形式)で表示できること。
67		図形数の確認	レイヤに格納された図形の属性一覧を確認できると共に図形の数を確認ができること。

68		一覧のソート機能	一覧で属性を基にソートでき、かつ一度に表示できるレコード数に制限はなく、ページ切り替えせず全件をスクロール表示できること。
69		一覧画面の切り離し	一覧と地図の配置は変更でき、一覧を別のウインドウとして切り離すことができること。
70	関連ファイル表示		図形に添付された画像ファイル、文書ファイル、PDFファイル等の参照ができること。
6. 検索機能			
71	地図検索	住所検索	住所を選択して該当する住所を画面の中心に表示できること。
72		地番検索	地番検索を行い、該当する地番住所を画面の中心に表示できること。
73		全文検索	GIS上の全てのデータ(レイヤ上) から指定した文字を検索できること。
74		目標物検索	指定した目標物をキーワード(学校名等)により検索できること。
75		座標検索機能	緯度経度を指定して位置が検索できること。
76	絞り込み検索	検索項目対象	指定したレイヤに対しての属性条件を指定し図形の検索ができること。
77			レイヤに対して定義されているすべての項目に対して絞り込み検索を行えること。
78		検索条件	項目内容が文字型の場合は名称部分一致・前方一致・後方一致・完全一致、日時の場合は日時指定の後「以前」「以降」を指定、数値の場合は「以上」「以下」を条件として指定できること。
79			「and」(かつ)「or」(または)を条件として選択できること。
80	検索結果	中心表示	検索結果の一覧から選択した属性情報に対応する図形データを地図の中心に表示できること。
81		絞り込み表示	レイヤに格納されている図形に対して、属性により検索を行った場合、その検索結果と一致する図形データのみ画面に絞り込み表示できること。
82		絞り込み解除	レイヤに格納されている図形に対して、属性により検索を行った場合、その検索結果と一致する図形データのみ画面に絞り込み設定後、解除が行えること。
83		CSVファイル出力	検索結果の一覧表示をCSVファイルに出力できること。
7. 作図機能			
84	図形新規作成	レイヤ指定	任意のレイヤに図形を作図できること。
85			なお、作図用のレイヤが存在しない場合でも自由に図形を作図できること。後に、マウスのドラッグ&ドロップにより図形をレイヤへ移動できること。
86		作図種類	点(シンボル)、線(ライン)、面(ポリゴン)、文字(テキスト)が作図できること。

87	線（ライン）	ライン作図	地図上の複数の点をクリックしてラインを作図できること。
88		ライン色の設定	作図済みの線種（線の太さ、実線・点線・破線、色）を変更できること。
89		フリーハンド	フリーハンドでラインを作図できること。
90		トレース作図	既存の線（頂点）を自動的に認識し、トレースして新たな線を作図できること。
91		片矢印	始点・終点を指定し、終点に矢印が表示されるラインを作図できること。
92		両矢印	始点・終点を指定し、両端に矢印が表示されるラインを作図できること。
93	面（ポリゴン）	ポリゴン作図	地図上の複数の地点をクリックし、多角形を作図できること。
94		作図種類	多角形の他に「四角形、円（半径m指定・2点指定）、扇形」の面図形を作図できること。
95		ポリゴン色の設定	作図済みの図形の周囲線種（線の太さ、実線・点線・破線、色）及び塗りつぶしの変更（色、ハッチング、透過・不透過）を変更できること。
96	文字(テキスト)	テキスト作図	地図上にテキストを作図できること。
97		テキスト色の設定	作図済みのテキストの文字、色、サイズを変更できること。
98	点(シンボル)	シンボル作図	地図上にシンボルを作図できること。
99		シンボルマークの設定	作図済みの点（シンボル）のシンボルマークを変更できること。
100		シンボルマークの登録	地図上に表記するシンボルマークの追加、削除ができること。シンボルは画像ファイルから登録できること。
101	作図補助機能	作図中の地図移動	図形の編集作業中であっても、地図の拡大・縮小機能や移動ボタンによる画面のスクロールが自在にできること。
102		作図中のやり直し	ラインやポリゴンデータは、頂点をマウスで順番に指定して作図を行うが、図形の編集作業中であっても、キーボードのBackSpaceキー等により前の頂点に「一つ戻る」に対応し、効率の良い作図が行えること。
103		座標入力による図形作図	頂点を座標入力することで「ポイント」「ライン」「ポリゴン」の図形を描画できること。
104		Undo／Redo	直前に行った作図操作を取り消して元に戻すことができたり、取り消した操作をもう一度やり直すことができるUndo／Redo機能を有すること。
	8．図形編集機能		
105	図形編集	削除	作図済みの図形を削除できること。
106		図形	選択図形の拡大・縮小ができること。
107		移動	作図済みの図形を移動できること。
108		頂点編集	選択した図形の頂点の移動、追加、削除ができること。
109		シンボルマーク変更	選択した図形のシンボルマークを変更できること。
110		回転	選択した図形が回転できること。Microsoft Officeのオートシェイプ同様に回転用の調整点をドラッグすることによる回転ができること。
111	面（ポリゴン）編集	中抜けポリゴン	中抜けポリゴンの作図、削除（穴開け、穴閉じ）が簡単な操作で行えること。
112		分割、結合	線、面の分割及び結合が簡単な操作で行えること。
113		バッファ	作図した中心線から指定した距離の領域（バッファエリア）を作成できること。角端・丸端の両方に対応すること。

114	作図補助	スナップ機能	図形はベクターデータとして扱えることとし、マウ斯卡ーソルの位置付近にある図形（線、面、テキスト、シンボル）及び頂点を自動で認識し、正確に図形上の位置を指定できること。これにより図形の編集作業中に、既存図形の頂点やライン上に吸着した作図操作ができること。
115		図形トレース機能	既存図形に隣接するポリゴンを容易に作図できること。自動的に既存図形の頂点を認識し、指定した2点の間に存在する複数の頂点を自動トレースできること。
116	クリップボード	コピー	既存図形のコピー（複製）ができること。
117		貼り付け	クリップボード内にあるものを地図に貼り付けできること。
118	空間検索		指定したレイヤ図形と他レイヤの図形を空間的な条件で検索し、検索結果を属性情報として保存できること。
119	空間検索種類	ポイント集計(カウント)	指定したレイヤ内（ポリゴンレイヤ）の図形に対して、重なるの合う他レイヤのポイント図形の数を取得できること。※例えば市町村ごとの避難所数を自動取得する。
120		ポイント集計(合計)	指定したレイヤ内（ポリゴンレイヤ）の図形に対して、重なるの合う他レイヤ（ポイントレイヤ）の数値属性の合計を取得できること。※例えば市町村ごとに、避難所の収容人数の合計を取得する。
121		属性取得	指定したレイヤ内（ポイントレイヤ）の図形に対して、重なるの合う他レイヤ(ポリゴン図形)の属性値を取得できること。※例えば要支援者ごとの浸水想定値を自動取得する。
9．主題図・分析機能			
122	主題図機能	ラベル主題図	属性情報の値を地図上にラベル表示できること。
123		ラベル主題図（高度設定）	属性情報の値を地図上にラベル表示した際に、ポリゴンデータ（面情報）の領域内に文字が収まるよう文字位置を自動で調整する機能を有すること。
124		個別値主題図	属性情報の値で地図上の図形色分けやシンボル表示ができること。
125		円・棒グラフ主題図	属性情報の値で地図上に円グラフや棒グラフを表示できること。
126		クロスレンジ主題図	2つの属性情報の値から相関的な色分け表示ができること。
127		凡例表示機能	地図の凡例を表示でき、表示、非表示の切り替えができること。
128	解析・分析機能	密度分布	レイヤ内の図形の数や属性を基に密度分布による色分け表示ができること。
129		同心円	複数のポイントから、半径を指定して円形の面図形を一括生成できること。
130		到達圏	任意の地点から到達可能な範囲のルートを検索し、ルートを示す線図形と凸包図形の作図ができること。
10．計測・経路検索機能			
131	計測機能	距離計測	地図上で指定した多点間の距離を計測できること。
132		緯度経度計測	指定した位置の緯度経度を表示できること。
133		面積計測	地図上で指定した多角形の面積を計測できること。
134		選択図形計測	選択した図形の面積及び周長を計測できること。
135		計測補助	距離や面積計測中に、1点前の点に入力状態で戻ることができること。
136		計測結果	計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。
11．印刷・出力機能			

6

137	印刷機能	レイアウト印刷	表示中の地図を印刷できること。
138			地図の縮尺を指定して印刷できること。
139		プレビュー	プレビュー画面で事前に印刷内容の確認ができること。
140			印刷設定画面内またはプレビュー画面内で、位置の微調整や縮尺の変更、レイヤのON/OFF切替え等ができること。
141			印刷プレビュー上で印刷余白を確認しながら印刷する地図領域を変更できること。
142			印刷レイアウト上では、余白の設定、名称（タイトル）、方位マーク、スケールバーの配置、凡例の配置、任意のピクチャ配置できること、
143			印刷プレビュー画面上で印刷範囲の変更がマウスの操作（拡大・縮小・スクロール）やスケール指定により印刷スケールの変更ができること。
144			自由に変更、設定した印刷レイアウトは名前をつけて保存ができ繰り返し利用できること。
145		大判印刷	大判プリンタ（A0サイズまで対応）による印刷ができること。
146		分割印刷	表示中の地図を指定された分割数で、分割してPDFファイルに出力できること。
147	「印刷用紙サイズ」「縮尺」を指定することで最適な自動分割を行えること。		
148	分割印刷プレビュー上で指定した範囲の内、図郭ごとに印刷の有無を選択できること。		
149	回転印刷	地図を任意の角度に回転させて印刷できること。	
150	出力機能	クリップボードコピー	現在表示している範囲、またはマウスで指定した範囲をクリップボードにコピーできること。
151		shapeファイル出力	レイヤデータをshapeファイルに出力できること。
152		DXFファイル出力	レイヤデータをDXFファイルに出力できること。
153		KMLファイル出力	レイヤデータをKMLファイルに出力できること。
154		CSVファイル出力	レイヤの属性データをCSVファイルに出力できること。
155		地図画像出力	現在表示している範囲をJPG、BMP、PNG、GIF形式で画像として出力できること。
156			マウスで指定した範囲をJPG、BMP、PNG、GIF形式で画像として出力できること。
12. プロット機能			
157	住所マッチング	ポイント生成	住所名称付きのCSV、Microsoft Excel形式のファイルデータを住所列を判別し一括登録できること。アドレスマッチング（住所文字列から座標データを付与させる。）を行い図形データ（ポイントデータ）を地図上に一括登録できること。
158		属性項目の登録	CSVファイル内の住所名称以外の属性項目を同時に登録できること。
159		マッチング精度	アドレスマッチング精度（大字レベル、小字レベル、番地レベル等）の確認ができること。
160		ゆらぎ対応	文字のゆらぎ（全角、半角、漢数字等の別、区切り文字「－（ハイフン）」、「の」、「ノ」等）に対応すること。
161	地番マッチング	ポイント生成	建物のない場所等、地番マッチング有効的に利用するため、地番付きのCSV、Microsoft Excel形式等のファイルデータを地番住所列により一括登録できること。地番マッチング（地番文字列から座標データを付与させる。）を行い図形データ（ポイントデータ）を地図上に一括登録できること。

162		マッチング精度	アドレスマッチング精度（字レベル、番地レベル等）の確認ができること。
163		ゆらぎ対応	文字のゆらぎ（全角、半角、漢数字等の別、区切り文字「-（ハイフン）」、「の」、「ノ」等）に対応すること。
164	緯度経度プロット	ポイント生成	座標値付きのCSVファイルデータを登録できること。座標は日本測地系（Tokyo Datum及びJGD 2 000）、世界測地系（WGS84）、平面直角座標系（新・旧測地系）に対応すること。
165		属性項目の登録	CSVファイル内の緯度経度以外の属性項目を同時に登録できること。
166	プロットの編集		プロットされたデータの削除や編集が行えること。
167	ファイル取込	Exif取込	位置情報（GPS情報）を持ったExif画像ファイル（JPEGファイル）の写真を緯度経度の位置に取り込めること。写真を格納したフォルダのドラッグ&ドロップによる、一括地図取り込みを可能とする。
168		画像	画像を地図上に取り込みできること。
169	データインポート機能	shapeファイル取込	shapeファイルをインポートできること。
170		DXFファイル取込	DXFファイルをインポートできること。
171		GCDファイル取込	DWGファイルをインポートできること。
172		KMLファイル取込	KMLファイルをインポートできること。
173		CSVファイル取込	座標付CSVファイルをインポートできること。
174	公開型GIS用データ出力	見栄えの設定	取り込んだShapeファイル対してポリゴンの色、ラインの色や太さ等見栄えを設定できること。設定した見栄えを維持したまま公開型用データを出力できること。
175			Csv形式やShapefile形式で取り込んだポイントのアイコンを設定できること。設定した見栄えを維持したまま公開型用データを出力できること。
176			アイコン(ポイントに適用するシンボル形状)はユーザが準備した画像データをもとにシステム利用者が自由に設定できること。
177		属性の設定	取り込んだShapeファイルの属性を変更し（非公開の設定を行う等）属性を絞り込んだ状態で公開型用データを出力できること。
178			取り込んだCSVファイルの属性を変更し（非公開の設定を行う等）属性を絞り込んだ状態で公開型用データを出力できること。
1 3．メンテナンス機能			
179	属性編集	属性編集	属性情報(値)の登録、編集、削除ができること。
180			添付ファイルとして、画像ファイル、文書ファイル、PDF ファイル等の複数のファイルを登録できること。
181			テキスト型の属性項目の値はキーボード入力ができること。
182		一覧画面での編集	レイヤの属性がエクセルのような一覧表形式から個別の属性を選択し編集ができること。
183			同一レイヤのすべての図形に対して特定列（項目）を選択し、同じ値を一括入力できること。
184			登録している図形の属性一覧を一旦CSVで編集後、インポートすることによって属性データの一括更新ができること。
185			図形に付与されたユニークキー（一意の番号）をもとに外部ファイル（CSV等）の図形情報を一括で登録できること。
186			属性は一時的に非表示にすることができること。これにより、公開型GISに出力する属性項目をあらかじめ出力しないよう、絞り込みが行えること。

187			データ更新（メンテナンス）を効率よく行うことができるように、一覧画面はExcelと互換性があること。Excelからのコピー＆ペースト及びExcelへのコピー＆ペーストに対応すること。
188	項目管理	項目の新規登録	整数型、長整数型、浮動小数点型、文字列型、日付型、URL型の情報を登録できること。
189		項目編集	属性項目の表示順を自由に入替え（並び替え） できること。
190			属性項目の登録と削除ができること。なお、属性項目数の制限は無制限とする。
191			一覧上で選択した項目を一時的に非表示にできること。また公開型GISに出力する情報のみを一覧表示し保存ができること。
1 4．ユーザ管理機能（ユーザ管理機能は管理ユーザのみが利用可能とすること。）			
192	ユーザ登録	登録	ユーザーの登録ができること。
193		部署管理	ユーザは部署ごとにグループ管理ができること。
194		登録ユーザ数	登録できるユーザー数には制限がないこと。
195	ユーザ更新	ユーザー一覧	登録済みのユーザーを一覧表示できること。
196		更新	CSVファイルにて、ユーザー情報の一括登録・変更ができること。
197	変更、削除		ユーザーの変更、削除ができること。
1 5．レイヤ管理機能（レイヤ機能は管理ユーザのみが利用可能とすること。）			
198	共有レイヤの一覧表示		システム内の共有レイヤすべてを一覧表示できること。
199	アクセス権限	権限設定	共有（庁内公開する）レイヤに対してアクセス権の設定と解除が行えること。
200		編集の制御	レイヤ単位で編集の利用を制限できること。
201		データエクスポート権限の制御	レイヤ単位でファイル出力（データエクスポート機能）の利用を制限できること。
202		印刷の制御	レイヤ単位で印刷の利用を制限できること。
203	レイヤ複製		登録されたレイヤのコピーができること。
204	レイヤ検索		レイヤ名称でレイヤの検索を行えること。検索結果に一覧が表示されること。
205	レイヤ削除		システム内の所管するレイヤを完全削除できること。
206			レイヤの一覧をCSV形式のファイルに出力できること。
207	メッセージ登録機能		公開した地図に対し、地図の補足説明ができること。
1 6．ログ管理機能（ログ管理機能は管理ユーザのみが利用可能とすること。）			
208	レイヤによる抽出		「レイヤ名」を指定して操作ログを抽出できること。
209	日付による抽出		「利用開始日」「利用終了日」を指定して操作ログを抽出できること。尚、 日付を任意に指定する際にカレンダーを利用できること。
210	担当（所属部署・ユーザ）による抽出		ユーザを指定を指定して操作ログを抽出できること。

211	分類による抽出		「分類」（操作の分類）を指定して操作ログを抽出できること。抽出時に任意に指定する分類の種類は「ログイン」「ログアウト」「タイムアウト」「ファイルを保存」「ファイルを削除」「作図・編集」「検索・計測」「印刷・出力」等が用意されており、リストから選択して抽出できること。
212	ログ結果表示		操作ログ結果が一覧で表示されること。ログ結果内容として「操作日時」「操作内容」「氏名」「部署」「レイヤ名」（データセット名）「備考」を確認できること。
213	ログ結果出力		条件に該当する抽出結果をCSV出力できること。
17. 通報機能で活用するシステム管理者機能			
214	CSVインポート	取込	統合型GISでCSVファイルを選択すると、CSVの座標値を元に通報地点が自動生成され、CSVの持つ属性情報はポイントに付与されていること。
215		項目の変更	CSVの列数が増減した場合もインポートが可能であること。
216	統合型GIS取り込み		「(別紙6) 公開型GIS 機能要件一覧」の項番No154の機能で出力されたCSVにPDFのパスが付与されていた場合、現場写真を統合型GISから表示できること。
217	検索		不具合地点のすべての属性(CSV項目)から検索ができること。
218	スタイル設定	アイコンの変更	投稿内容のアイコン変更ができること。
219		主題図設定	投稿内容の属性からラベル主題図が表示できること。
220	属性操作	属性追加	投稿内容の属性を自由に追加できること。(例えば「備考」など) 尚、属性数の制限はないものとする。
221		属性編集	取り込んだ属性情報は編集できること。
222	属性編集		「(別紙6) 公開型GIS 機能要件一覧」の項番No154の機能で出力されたCSVをインポートすると統合型GIS上にポイントが生成されること。生成されたポイントへの属性追加、属性項目編集が行えること。
223	統合型GISでの編集機能		「(別紙6) 公開型GIS 機能要件一覧」の項番No154の機能で出力されたCSVをインポートすると統合型GIS上にポイントが生成されること。生成されたポイントは移動、アイコンの変更、削除などの操作が行えること。
224	通報地点への権限設定		取り込んだ通報地点に対してシステム管理者は、権限設定(印刷、出力、編集)が行えること。
18. その他の管理機能（その他の管理機能は管理ユーザのみが利用可能とすること。）			
225	同時利用者管理機能		一定時間、操作しなかったユーザーを自動的にログアウトできること。尚、任意の時間で設定可能なこと。
226	お知らせ機能		ポータルページに新着情報などのお知らせを登録・編集できること。